

# 遠く横浜から壱岐の海で海女に！

壱岐東部漁業協同組合 **藤本 彩子**さん 32歳 漁業歴2年

藤本さんは海女として素潜り漁を行うとともに、養殖や水産加工の技術も学んでいます。

藤本彩子さんは、母親の実家が海に近かったことから、小さい頃から海で遊ぶことが多く海に慣れ親しんでいたそうです。

そのまま海で泳ぐことが好きになった藤本さんは、ダイビングのライセンスを取得し、趣味として海との付き合いを続けていました。

そんなある日、同年代の女性が壱岐で海女になった姿をテレビで観て、「自分のやりたいことはこれだ！」とビビッと来たそうです。反対する両親を説得し、平成二十八年二月に壱岐に移住し海女になりました。

自然相手での天候や海の状況に左右されることや、体力勝負で自己管理が重要であること等、海女の大変さをお話する一方で、念願だった海に関わる仕事が出来ると喜び、ウニやアワビが沢山獲れた時の充実感と言った魅力についても楽しそうに話されていました。

今後については、「今はまだ、ウニを見つたり獲ったりするスピードがベテラン海女に比べ遅く漁獲量も少ないですが、早く一人前の海女になって先輩方と肩を並べたいですね。」と、抱負を語っておられました。



## 経歴

18歳

高校卒業後大学に進学し、経営情報学について学ぶ。

22歳

東京都の情報サービス業の会社に就職し、システムエンジニアとして勤務。

30歳

同世代の女性が壱岐で海女になったこと知り、自分も海女になることを決意。壱岐に移住する。

## 藤本さんの操業スケジュール

藤本さんは年間のうち5ヶ月間を海女として素潜り漁に従事しますが、一年を通じて海に関わる仕事だけで生活が成り立つよう、素潜り漁以外の期間をマガキの養殖やアカモクという海藻の加工業務に従事し、その養殖技術や加工技術を習得しようと日々励んでおられます。

注) 素潜り漁はその日の潮の干満時間により操業時間が大きく変わります。掲載している一日のスケジュールは一例であり、昼頃から操業を開始する日もあるとのことです。



テレビ取材の様子（写真左端）



海女の先輩方と一緒に（後列左端）

素潜り漁 (注)	マガキ養殖
6:00	
7:00	
8:00	
9:00	
10:00	作業 (収穫、貝掃除など)
11:00	
12:00	休憩、食事
13:00	
14:00	作業 (収穫、貝掃除など)
15:00	
16:00	
17:00	

### 年間操業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
素潜り漁					ムラサキウニ	アワビ、サザエ	アカウニ	バフウニ				
養殖	マガキ										マガキ	
加工			アカモク									

## 漁業以外の活動の様子



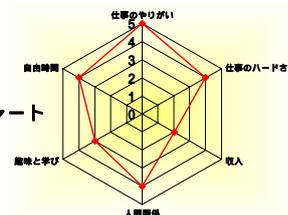
### 地元消防団の音楽隊に入隊

消防団の活動の一環である音楽隊に入隊し、地元音楽会で学生時代に吹いていたサックスの腕前を披露されるなど、地域活動に積極的に関わっておられます。

(写真右から6番目が藤本さん)



### 藤本さんの本音チャート



## ご両親も応援！！

藤本さんが海女になることに対して、当初ご両親は、「海に関わる仕事は危険で恐ろしい」「漁業に就くにしても遠く離れた壱岐ではなく、もっと近くの地域でいいのではないか」と反対されたそうですが、「壱岐の海で海女になりたい！」と言う藤本さんの強い意志と説得により、「せっかくやるなら頑張っておいで！」と、快く送り出してもらえたそうです。

## 漁業就業を目指す方へ！

海の仕事は、想像してるより過酷で大変でした。しかし、その分、楽しさややりがいのある仕事だと思います。

大袈裟ですが、命をがけて一生懸命獲った海産物が誰かにおいしく食べていただけると思うと本当に嬉しいです。